

平成 29 年度第 1 回宗像市学校給食審議会議事録

日 時：平成 29 年 6 月 27 日(火) 9：00～10：30

会 場：宗像市役所北館 2 階 202 会議室

出席者：審議会委員 10 名出席（1 名欠席）

1. あいさつ

2. 委嘱状交付

(1) 委員について

委員の任期は 2 年となっているが、委員 1 名が平成 29 年 3 月末で退職されたため、新たに 1 名委員として迎えている。

任期は、前任者の残任期間となっているため、他の委員の方と同じように平成 30 年 5 月 31 日までの任期となる。

3. 協議

(1) 宗像市学校給食用物資納入業者審査委員会委員の選出について

宗像市学校給食用物資納入業者審査委員会委員に 1 名選出した。

4. 説明

(1) 学校給食費の現状について

今回は説明のみで、協議事項ではない。次回以降に給食費を改定するかどうか協議を行う。

【主な説明内容】

- ・宗像市における学校給食費改定の推移状況
- ・近隣市町の給食費・給食回数との比較
- ・平成 28 年度分学校給食費の収納状況
- ・市内小中学校センター配分金・繰越金の年度推移
- ・学校給食回数及び給食費に関するアンケートの結果一覧
- ・平成 27・28 年分消費者物価指数の動向
- ・学校給食用物資価格の推移
- ・平成 28 年小・中学校給食費試算表
- ・学習指導要領改訂のスケジュール

【質問事項】

質問 1	<p>センター配分金は、使い方の規定はあるのか。また、配分金がゼロになってもいいのか。</p> <p>回答：センター配分金については、給食費としてお使いくださいと渡している。そのため、繰越金の中に含まれる。配分金はゼロになってもかまわない。</p>
質問 2	<p>4 月分の給食の食材費は、繰越金で支払っているのか。もしそうなら、繰越金が減っている学校は支払いができなくなるので、値上げしないといけなくなるのか。</p> <p>回答：4 月分の食材費は繰越金で支払っている。そのため 2～5 日分の給食費を残すようにして、小規模な業者にだけでも支払っていた。ただ、現年度でその年度分の給食費を使い切るとするのが本来あるべき姿である。また、年間を通してみると、給食費が不足しているということはない。給食費の引き落としの時期と 4 月分の支払いの時期にずれがあるため、うまくいっていないだけである。</p> <p>県の上部組織に確認したところ、繰越金がたくさんあるのであれば値上げは難しいという見解であった。また、4 月分を支払うために値上げするという考えではなく、4 月に支払えるような体制を整えるべきではないかという考えであった。</p> <p>繰越金がなくて 4 月分の食材費の支払いができないから、値上げするというのは理由の説明がしづらいと考えている。食品構成を満たすために単価等を見直しする、もしくは、回数が増えるので月額の給食費を上げるなら考えられる。給食費の単価の見直しと、繰越金の問題は直接関係しないと考えている。</p>
質問 3	<p>4 月分の給食費の引き落としが 5 月下旬に行われるため、4 月分の食材費が支払えないということだったが、4 月 10 日前後には保護者が記入する引き落とし関係の書類を学校に提出しているの、4 月の引き落としが可能ではないか。</p> <p>回答：保護者が記入する書類の提出が必要なのは 1 年生のみで、2 年生以上についてはクラスと出席番号が確定すれば、学校から金融機関に提出はできる。ただ、引き落とし日の 14 営業日前までには、金融機関に必要書類を全て提出しておかないといけない。小規模校では、4 月上旬に提出して、</p>

	<p>下旬に引き落とすことも可能かもしれないが、大規模校では難しい面がある。そのため、市内一律で行うのは難しいと判断している。</p>
質問 4	<p>4 月分の食材費の支払いについてだが、納入業者に 5 月まで支払を待ってもらってもいいのか。</p> <p>回答：福岡県学校給食会については、待っていただくことは可能であり、実際に待ってもらっている。ただ、市内の豆腐屋や八百屋などの小規模な業者については、2 ヶ月間支払いがないとなると厳しいところもあるので、そういった業者には支払うようにしている。</p>
質問 5	<p>平成 28 年度の給食費未納の状況について、資料では 3 月末現在の数値だが、現時点での状況はどうなっているのか。また、この資料には前年度以前の未納金額は含まれているのか。</p> <p>回答：現時点の数値は把握していないが、年度が変われば過年度分の未納として把握し、教育委員会でも訪問したりして収納できるようにしている。また、前年度以前の金額については、この資料には含まれていない。</p>
質問 6	<p>給食費の未納について、過年度分も含めると金額は増えるのか。</p> <p>回答：一概には言えないが、過年度分も含めると金額としては増えることがほとんどである。ただ、児童手当からの引き落としが可能になってから、現年分の未納は減ってきている。過年度分の未納については、徴収の対応について調査研究を行い、確実に減らせるよう取り組んでいく。</p>
質問 7	<p>同じ中学校区なのに、中学校と小学校で給食費の収納率が違うのはなぜか。</p> <p>回答：中学校の実例を紹介すると、中学校に入学してきた時に、まず小学校の未納分を児童手当などで充当している。中学校の未納分については、気持ちよく卒業できるようにということで、校長や担任等が家庭連絡するなどして徴収している。</p>
質問 8	<p>授業日数が増える場合は、給食費も上がるということか。</p> <p>回答：授業日数が増えて、給食回数も増加する必要があるということになれば、単価が変わらなくても、月額給食費は上げることになる。単価の見直しも必要ということであれば、併せて検討を行う。</p>
質問 9	<p>給食費を上げるという協議の前に、残菜についても考える必要があるのではないか。また、現在、残菜の調査結果を学校にどのように知らせているか。</p>

	<p>回答：現状として中学校は食品構成の基準値を満たせていない食品群がある。食品構成を満たそうとすれば、残菜が増える可能性はある。</p> <p>市としても環境基本計画を見直しているところで、食品ロスについて検討していく必要がある。</p> <p>残菜の調査については、市内小中学校分の集約は行っているが、一覧にして学校には知らせていない。</p>
質問 10	<p>近隣の給食費の一覧で、地区により金額が違うが、これはなぜか。また、福津市は小学校で 250 円、宗像市は 243 円であり、この違いは何か。</p> <p>回答：給食用物資の購入方法で、入札で価格を決めている地区がある。そういった地区は安く物資を購入できる。また、無洗米を使っている地区もあり、無洗米は通常の米よりも高いため、そういった要因が給食費に反映されているのではないかと考えられる。</p> <p>宗像市では、小学校で 243 円と円単位で設定しているが、福津市では 250 円と 10 円単位になっている。その差ではないかと考えられる。</p>
質問 11	<p>宗像市は、納入業者によって価格が異なるのか。</p> <p>回答：業者により異なる。ただ、同じ業者なら A 校でも B 校でも同じ価格である。</p>
質問 12	<p>地場産物は、価格が高いこともあるようだが、地場産物の活用については、どう考えているのか。</p> <p>回答：地産地消については、農業振興課や水産振興課などでも推奨している事項だが、それぞれの課で地産地消に取り組む視点が異なっているというのが現状である。また、学校給食に地場産物を活用したいが、大規模校では量の確保が難しいという課題がある。供給体制について、検討していく必要がある。</p>

【意見】

意見 1	<p>残菜の問題で、給食費を上げるのに残菜が多くなったらおかしい。残菜については、教育内容と深く関わる内容のため、学校に対してもどのように指導するか検討する必要があるのではないかと考えられる。</p>
意見 2	<p>中学校については、3 年生の部活動が終わると、残菜が増えると聞く。金額を上げるという以前に、量を減らすなどの対応も考えるべきではないかと考えられる。</p>
意見 3	<p>中学校では、入試時期になると 3 年生で給食を食べない生徒がいるが、日によって食べない人数が違っていたり、クラスによっても人数が異なったり</p>

	など、事前に量を減らして提供するのが難しい状況である。そのため、入試時期は残菜が多くなる。
--	---

【次回に提示してほしい資料】

要望 1	残菜が 0%の学校でどのような取組をしているのか調べてほしい。
要望 2	給食費の収納状況で、収納率が 100%ではない学校では、どのような取組をしているのか調べてほしい。

次回開催日は、9月22日（金）午前中とする。